



スレイフクエスト

3

アリシア

人とエルフの同盟軍、
その砦を指揮する姫騎士。
親の七光りではない実力で、騎士団長を務めている。

従妹のプリムを実の妹のように可愛がっている。



The scene is a vast, open stone plaza with a large, wide staircase on the right side. The plaza is paved with large, rectangular stone tiles. In the background, there are snow-capped mountains under a blue sky with scattered clouds. On the left side of the plaza, there are two stone pillars with a yellow decorative element between them. A small, ornate stone urn with green plants sits on a pedestal between the pillars. On the right side, there are more stone pillars and a large, ornate stone staircase with a purple banner hanging from the top. The overall atmosphere is grand and majestic.

所属不明の敵勢力が
この砦へと進撃している



最初は小さな町から始まり
大小様々な都市や城を襲撃して勢力を拡大



ついにはケルトウーラの砦すら
陥落させるに至った

大丈夫でしょうか…ここは

わからん…
何せ、敵の正体も戦力も未知数だ

この砦の戦力で、どこまで対応できるか…
私も前線に出る必要がある



姉様も…!?

心配するな、プリム

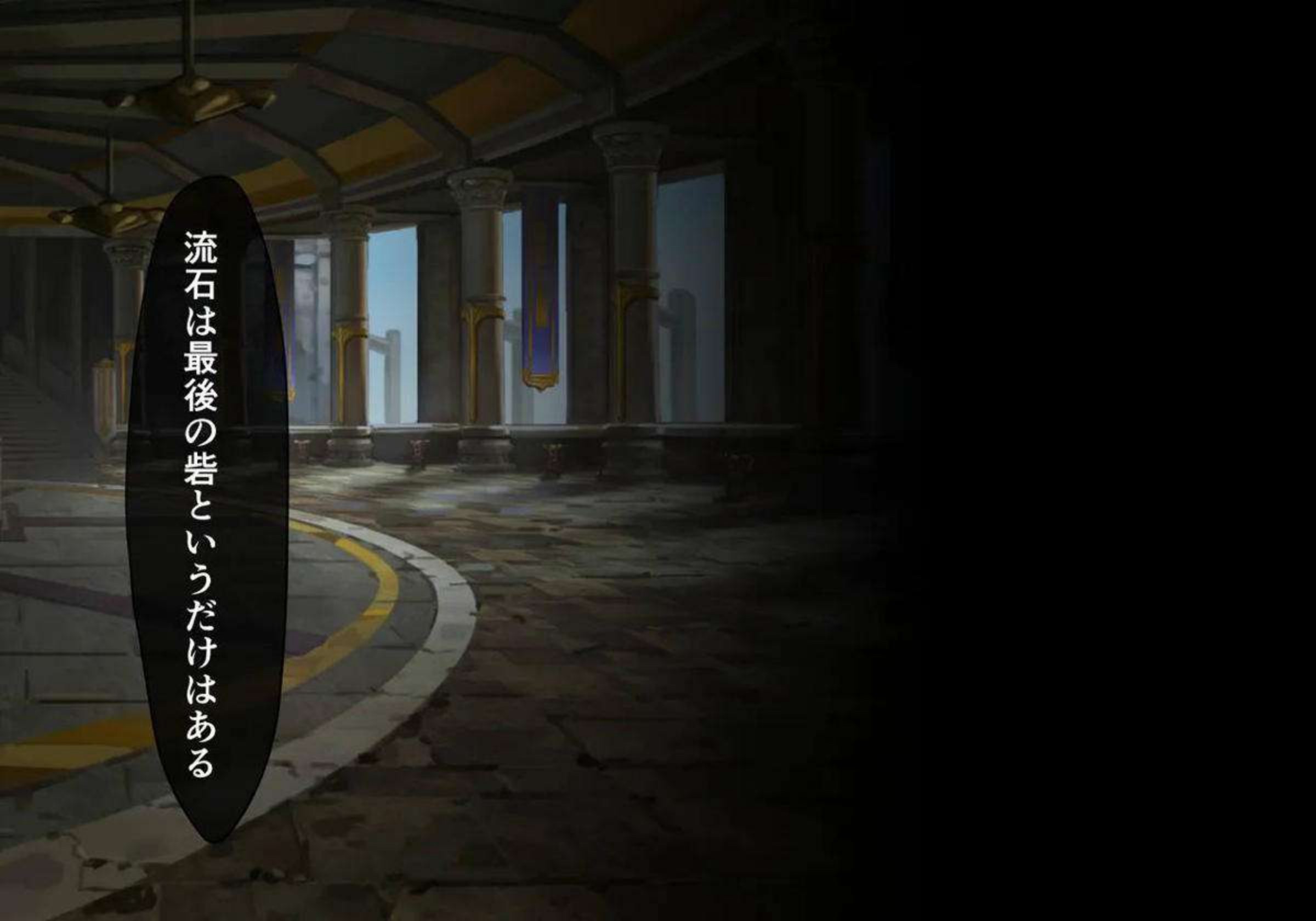
例え何が相手でも
私がいる限りお前には指一本触れさせん



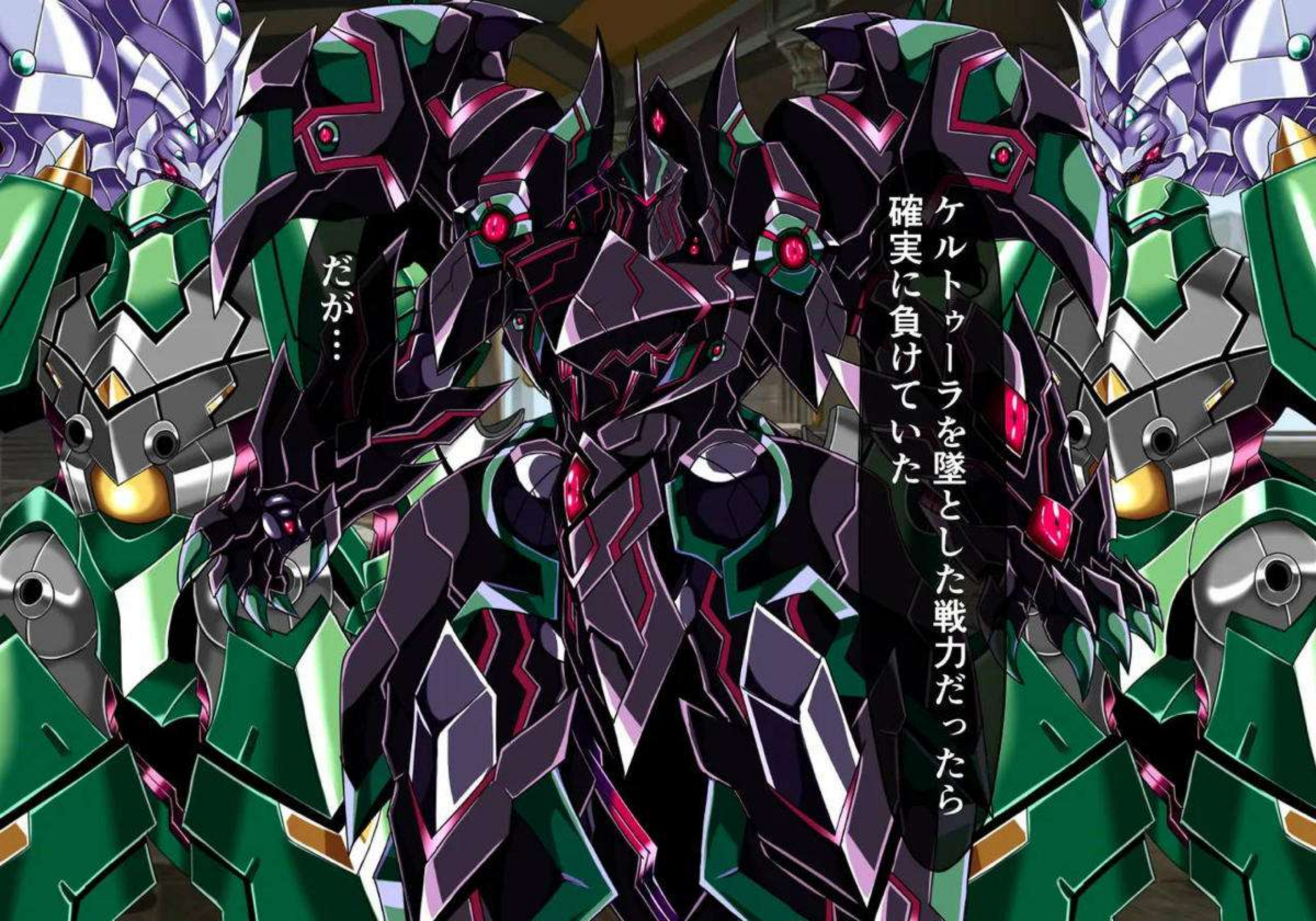
だからお前は
ここで待っていてくれ

はい、姉さま……





流石は最後の砦というだけはある



ケルトウーラを墜とした戦力だったら
確実に負けていた

だが…

今の俺の敵じゃあないな

く……っ



えっ……っいで交渉だ

…交渉？

そう…俺の目的はこの砦の姫
それ以外は特に興味はない



お前が俺の雌奴隷になるなら
この砦とお前達の母国の安全は保障しよう

め、雌奴隷!?

な、なにを破廉恥な……!



下劣なことは自覚してるさ
で、どうだ？

断る

辱めを受けるくらいならば
騎士として死を選ばせてもらう

そう言うと思った



だが、あの可愛いお姫様はどうかねえ

っ！

ま、まさか…!?



密かに脱出させようとしていたようだが
俺は見逃さん



今はちよつと牢に入ってもらっている

話の続きをしよう

お前が死を選ぶのは勝手だが
残されたお姫様はどうするつもりかな？

まさか、誇り高き死とやらを
あの子にも強要するのかい？

それは……

お前が死んだあと
あの子はどんな目に遭うだろうな





…約束しろ
プリムには一切手を出さないと

ああ、勿論



いんっ



ここまでさせてくれるんだしなあ



う
う
う
う
う

ズ

チ
チ
チ

♡

ズ

ズ

これよこれ
処女膜をぶち抜いた感覚は
やっぱ堪らねえなあ

うん

かゝらだかゝ裂けるようだゝ

だ、だが…耐えろ…っ
これくらいで…



いい締め付けだぜ
高貴な女のマンコにハズレ無しだ

あん

おあ

ずずず

あめ

だ、だめだ…っ

こ、声が出てしまう…っ



もっといい声を聞かせてくれよ

ああああ

ゴ
ロ
リ
ン



いい声どころか
潮を吹いてイっちまったかあ

だが、まだまだ終わらねえよ



俺はまだイってないんだからなあ

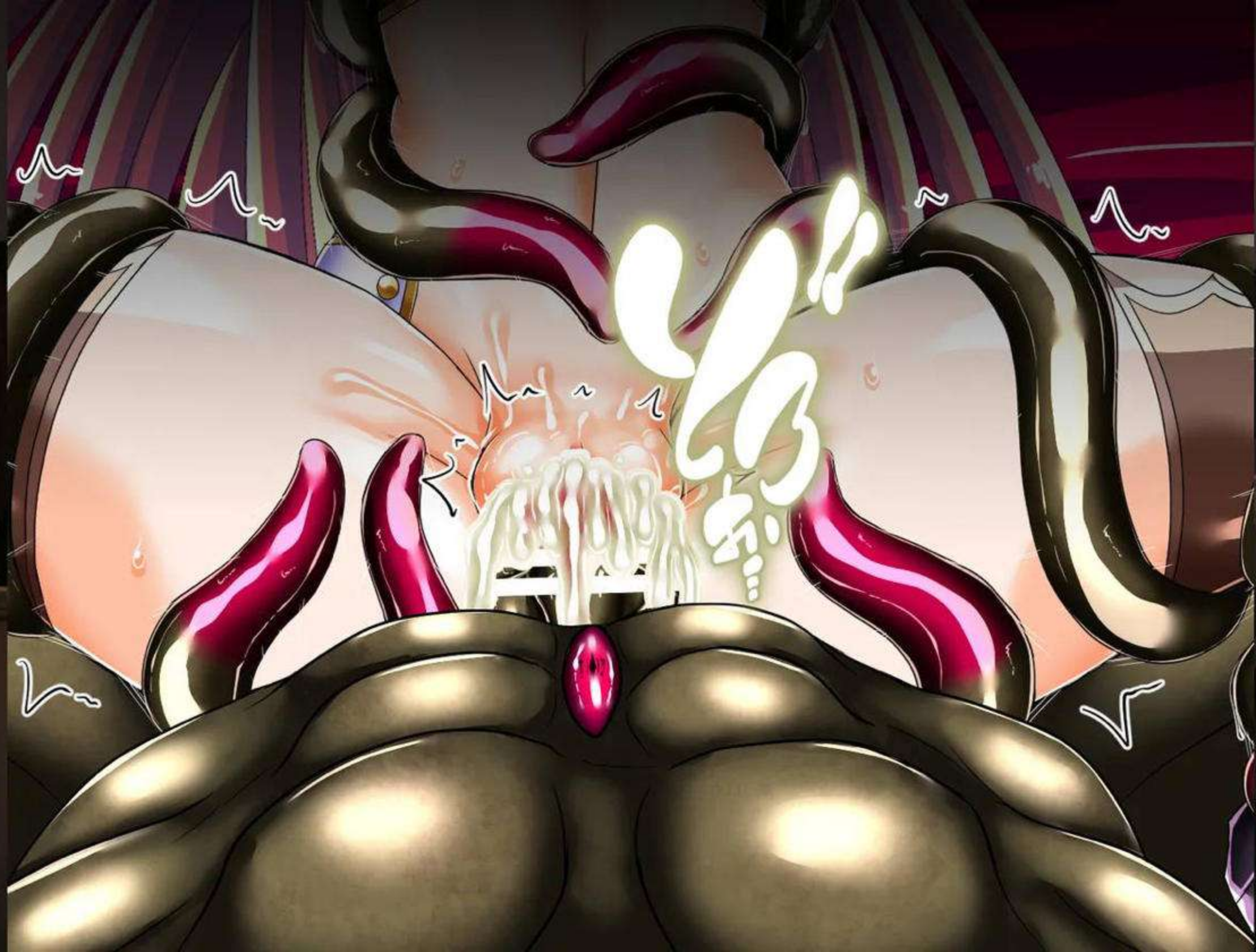


だからこれがその一発目…

遠慮なく受け取れよ









じゃあ、続けるか



ま…まて…

ま
っ
て
っ

わ、わたしは…っ

射精す前に一発って言っただろ
聞こえなかったか？

今夜は射精すだけ
射精してやるからな
覚悟しな





ん…もう朝か



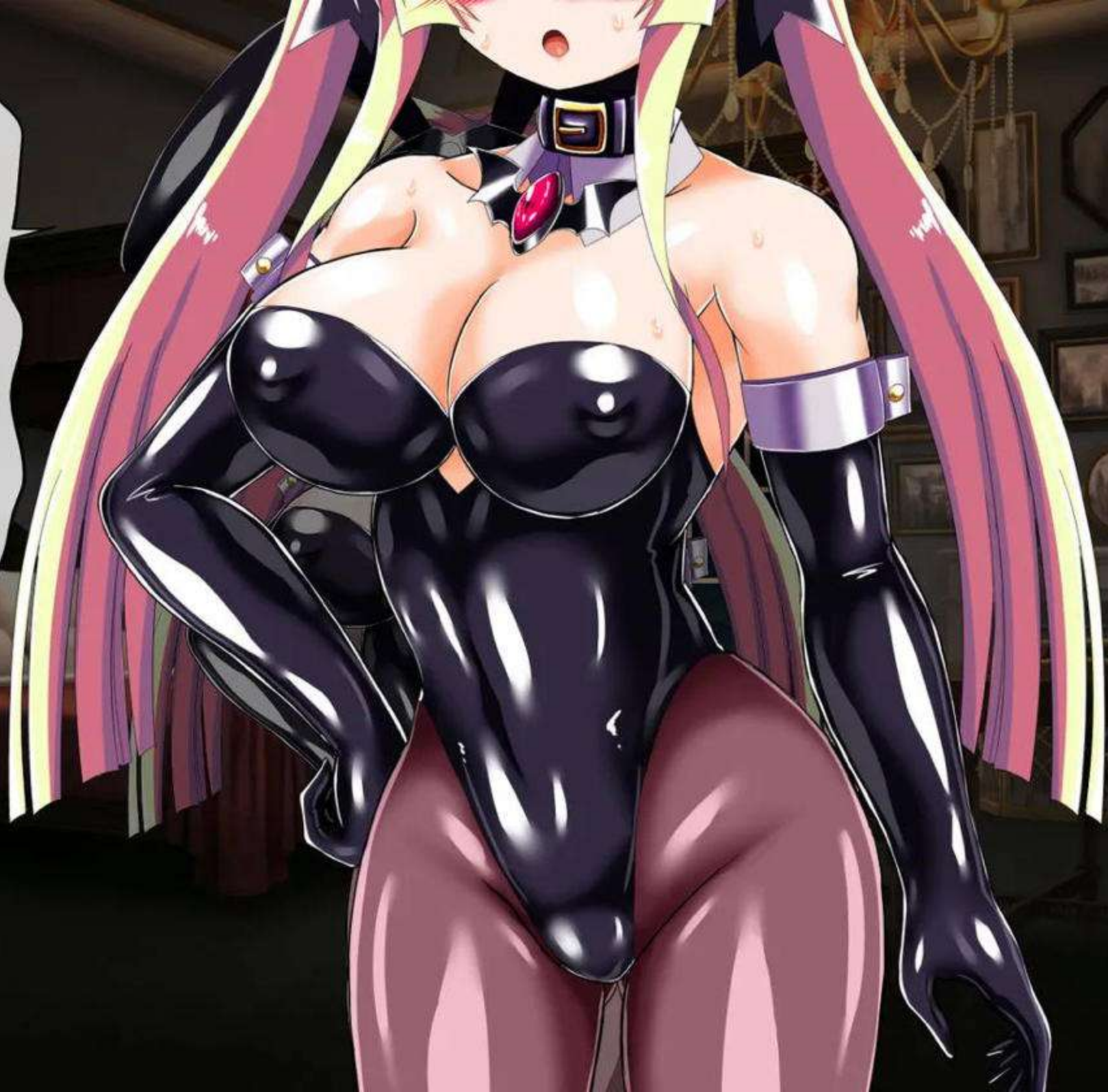
ついつい時間を忘れてやっちゃったぜ



ご苦労さん…
今晚に備えてゆっくり休みな



この服は…なんだ…？





ああ、知らねえか

何ってバニーガールだよ



……嬉しくはない

似合っているぜ

まあざっくりと言うと
男を悦ばせる服だよ

それはそれとして始めようか

ドスケベな格好の女を前にして
何もしないなんて我慢は俺には出来ないんでね



お？
もう濡れているのか…

ト
♡
ちゅ♡

用意がいいねえ



別に貴様のためでもないし
濡らしたつもりもない…

なら自然と濡れてたと…？

『元』姫騎士様はなかなか淫乱だな

ぬっ



まあ

こんなに締め付けの強いマンコの女が
淫乱じゃないはずないよなあ





んあぁあ

そおれ

ゴ

ゴ

んあぁー

びゅるるる♡♡



んじゃ、次は…





ま...まてー！

そこは...

ぐりゅぐりゅ

ぐりゅぐりゅ

いつまでも入れておくわけには
いかないだろ？



抜いてすっきりしようぜ

ああああ

ビクビク
セクセク
セクセク

ドン
パン
パン

ビクビク
セクセク
セクセク





...んがっ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！...

すぐにまた
捻じ込むことになるんだがなあ

あーん



ひひひ：
下品な声を上げるほど
アナルが気に入ったか

もっと気持ち良くしてやるよ



こっちも何も入ってないのは
寂しいだろう？





おは

おは

両穴にも慣れておけよ
俺のように同時に犯すのが
好きな奴もいるんだからなあ

さあ、イクぜ











まだまだ射精し足りねえ
今夜も朝まで楽しもうぜえ

ボ

オ

オオカミ



To be continued...

















































